

【児童へのお話】

校長先生は最近、とても心配なことがあります。それは、子どもの列に車がぶつかってきたり、学校の中で子どもや先生にケガをさせたりする事件が相次いでいることです。学校の中の安全は、先生たち大人が守りますので、安心して下さい。皆さんは今まで以上に、学校への生き帰りの道で、危ない人や車、危ない物がないかどうか、周りをよく見て気を付けて歩くようにして下さいね。

さて今日は、「頑張り抜くことの大切さ」について、お話しします。

まず、今週土曜日の運動会に向け、一流のスポーツ選手の言葉を4つ紹介します。

まずは、サッカーのリオネル・メッシ選手

「努力すれば報われる？ そうじゃない。報われるまで努力するんだ」

次は、バスケットボールのマイケル・ジョーダン選手

「私は失敗を受け入れることができる。でも、挑戦しないことだけは許せない」

次は、水泳のイアン・ソープ選手

「成功とは自分の達成度のことだ。他人を気にする必要はまったくない」

最後に、フィギュアスケートの羽生結弦選手

「できることを出し惜しみしてやってもつまらない。それは一生懸命ではない」

一流のスポーツ選手は、みんな頑張り抜くことの大切さを口にしています。そして、できない、勝った負けたではなく、自分がどれだけ頑張ることができたかが重要で、成功かどうかを決めるのは自分自身である、と考えていることがよく分かります。

運動会は、お家の方がたくさん見に来てくれます。皆さんが一生懸命に頑張る姿が、お家の方にとって一番嬉しく、見たいと思っている姿だと思います。これから5日間、自分の目標を決めて一生懸命努力し、運動会当日に「強くたくましい」姿を見せて、お家の人をたくさん喜ばせてあげてください。

今日は「頑張り抜くことの大切さ」について、お話ししました。

【本講話について】

子どもが傷付けられる事案が、5月に入ってから東京都を含む全国で複数件起こっています。子どもを守るべき大人が子どもを傷付けることは、決してあってはならないことです。学校では最悪の事態に至らぬよう、常に事故の予防と対策を続けていきます。保護者、地域の皆様のご協力を、ぜひお願いします。

いよいよ今週末は運動会本番です。子どもは、自分の頑張りを大切な人に見てほしいと強く思っているものです。ぜひ学校へお越しください。健気に頑張る子どもたちが、皆様をお待ちしています。